

上部消化管内視鏡検査・治療の説明

【概要】

食道、胃、および十二指腸の病気を診断するために行います。検査では、鼻もしくは口から（**基本的には鼻からの検査になります**）内視鏡を挿入し、空気を送り込むことで食道、胃、十二指腸を膨らませて観察します。必要に応じて、粘膜組織の採取（生検）や色素散布法を実施することがあります。検査中に強い咽頭反射（いわゆる「オエッ」となる反応）が起きたり、**合併症が発生した場合、または体動が激しくなる場合には、安全を最優先に考え、検査を中止させていただくことがあります。**

麻酔薬に対するアレルギーがある方は、事前に医師またはスタッフにお知らせくださいますようお願いいたします。

【検査までの流れ】

①検査前の食事制限について

午前中に検査を受ける場合：検査前日の夜9時以降は、何も食べないでください。

午後に検査を受ける場合：検査の6時間前から食事を摂らないでください。

※検査の1時間前までは、水やお茶での水分補給は可能です。

②内服薬について

検査当日の朝、心臓や血圧のお薬は通常通り服用してください。

糖尿病治療薬を服用中の方は、検査前の服薬については、当院は専門外で適切な指示ができません。必ず事前にかかりつけ医にご相談ください。安全な検査のために、ご協力をお願いいたします。

（薬の詳細が分かるお薬手帳やお薬をスタッフにお見せください。）

※基本的には、抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）は継続して服用していただきます。

【検査の流れ】

1. 検査の10～15分前に、鼻や喉の麻酔を行います。
2. 検査にかかる時間の目安は5～10分程度です。
3. 検査中に口の中に溜まる唾液は、飲むとむせる可能性があるため、そのまま垂れ流してください。
4. 異常が疑われる場合には、色素を散布したり、粘膜組織の一部を採取（生検）する組織検査を行うことがあります。

【検査後の注意事項】

- ・喉の麻酔が切れるまで約1時間程度かかりますので、その間は飲食を控えてください。
- ・検査後に喉の奥が多少ひりひりすることや、胃内に空気が残ってお腹が張ることがありますが、時間が経つと自然に改善します。
- ・組織を採取された方は、2時間以上経過してから消化の良いものを食べてください。
- ・検査当日は刺激物やアルコールを避けてください。

【鎮静剤の使用について】

当クリニックでは、鎮静剤を使用して検査を行います。鎮静剤は、検査時の緊張を和らげるために使用しますが、副作用として静脈炎や呼吸抑制が起こることがあります。鎮静剤・鎮痛剤の効果は個人差があり、完全に眠ってしまう方もいれば、うとうとする程度の場合もあります。注射後、数十秒～数分で効果が出ますが個人差がございます。**特にアルコールをよく飲まれる方や、抗不安薬等を飲まれている方は、鎮静剤の効果が弱まるとされています。**検査中は血圧や酸素濃度を測定しながら患者様の状態をモニターしながら行います。

またまれに血圧低下、不整脈とそれに伴うショック状態となることがあります。検査終了後、足元がふらつくことがあり、転倒の恐れや検査前後の記憶がなくなることがあります。消化器内視鏡学会による全国調査では、鎮静剤・鎮痛剤投与による呼吸抑制・呼吸停止・ショックなどの偶発症発生率は0.0013%であり、死亡率は0.000022%と報告されております。

検査後は30分～1時間ほど休んでいただきますが、眠気や判断力の低下が残ることがありますので、検査後に運転の予定がある場合は、鎮静剤・鎮痛剤は使用できません。また検査後に大事な用事・仕事があり、お帰りを急ぐ場合も鎮静剤・鎮痛剤の使用が出来ません。

【起こりうる偶発症(注意しても、事前に「絶対ない」とは言い切れないもの)】

検査中や前処置中には、以下のような合併症が発生する可能性があります。

- ① 送気による血圧低下、気分不快感
- ② カメラがこすれることによる粘膜裂傷や出血や消化管穿孔(穴があくこと)
- ③ 粘膜組織の一部を採取すること(生検)やポリープ切除に伴う出血や消化管穿孔
- ④ 使用する薬剤(咽頭麻酔剤・鎮痙剤・鎮静剤)によるアレルギー反応、低血糖、不整脈
- ⑤ 既存の疾患(脳梗塞・心筋梗塞など)の悪化、その他

日本消化器内視鏡学会が行った第 5 回全国集計(2010 年)では、これらの頻度は0.005%、死亡率は 0.00019%と報告されています。

これらの偶発症が起こらないように当院では細心の注意を払って検査を行います。偶発症の合併はまれですが、発生した場合は可及的速やかに最善の対処をいたします。万が一、入院や手術(輸血などの処置)が必要になった場合、医療費は患者様のご負担となることをご了承ください。

【料金について】

◎料金の目安は、1 割負担の場合、およそ1,500円～4,000円、3 割負担の場合、およそ 4000円～12000円です。(使用薬剤、処置内容、生検個数により異なります)

【内視鏡検査のキャンセルについて】

当院の内視鏡検査は完全予約制です。

検査をキャンセルされる場合は、1営業日12時前までに必ずお電話でご連絡ください。

無断キャンセルや当日キャンセルの場合、検査準備にかかった実費として、

- ・上部消化管内視鏡(胃カメラ) 2,000円
- ・下部消化管内視鏡(大腸カメラ) 3,000円
- ・上下部消化管内視鏡(胃・大腸カメラ) 5,000円

のキャンセル料を申し受けます。

日程変更はお電話で承りますが、変更は1回までとさせていただきます。

2回目以降は再度の受診が必要です。

多くの方に大切な検査を受けていただけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

上部消化管内視鏡検査及び鎮静剤使用の承諾書

■上部内視鏡検査及び鎮静剤使用について

- ・今回、上部内視鏡検査を依頼するにあたり、その必要性、安全性(合併症、副作用)、方法について、説明を受け、納得しました。
- ・鎮静剤を使用するにあたり、使用目的、安全性(合併症、副作用)、方法について、説明を受け、納得しました。
- ・検査中に生検が必要と判断された場合の内容、必要性及び合併症などについて、説明を受け、理解しました。
- ・検査/治療中に緊急の処置をする必要が生じた場合は、適宜処置されることについても承諾します。

■抗血栓薬内服者における抗血栓薬の継続・中止について

- ・事前に当院医師による指示が無い場合は、抗血栓薬内服を継続して検査を行います。

以上の説明を受け、下記の項目に署名をしてください。

【横浜あおば胃腸肛門内視鏡クリニック 院長 安西紘幸殿】

私は上部内視鏡検査および治療を受けるにあたり、その必要性、安全性(偶発症、副作用)、方法について口頭および文書(上記の記載事項)にて説明を受けよく理解しましたのでその実施を同意します。

年 月 日

署名: _____

【検査当日の大切なお願い】

★当日は鎮静剤を使用するため、検査後しばらくは判断力や反応が低下することがあります。そのため、**車・バイク・自転車の運転は非常に危険です。ご自身での運転は絶対にお控えください。**

ご不便をおかけしますが、安全のため、公共交通機関やご家族の送迎をご利用くださいますようお願いいたします。

★**糖尿病治療薬を服用中の方は、内視鏡検査前に使用する下剤との関係で、低血糖などの副作用が生じることがあります。検査前の服薬については、当院は専門外で適切な指示ができかねるため、必ず事前にかかりつけ医にご相談ください。**

安全な検査のために、ご協力をお願いいたします。